

令和5年度（2023年度）第2回 熊本市公民館運営審議会

議事要旨

【開催日時】 令和6年3月19日（火）14:00～

【開催場所】 熊本市託麻公民館 ホール

【出席者】

■ 公民館運営審議会委員

香崎 委員
藤井 委員（委員長代理）
安達 委員
村本 委員
穴井 委員
境内 委員
前出 委員
郷原 委員
清水 委員
栢木 委員
原田 委員
福島 委員
城島 委員

以上13人

■ 事務局

市民生活部長 石坂 強
生涯学習課長 大石 雄一

公民館長

中央区 まちづくりセンター
橋本所長
〃 中央公民館 桑原館長
〃 大江公民館 廣瀧館長
東 区 託麻公民館 福田館長
〃 秋津公民館 西川館長
〃 東部公民館 睦田館長
西 区 西部公民館 高取館長
〃 河内公民館 藤林館長
〃 花園公民館 井戸館長
南 区 富合公民館 水町館長
〃 飽田公民館 鳥井館長
〃 天明公民館 藤本館長
〃 幸田公民館 池田館長
〃 城南公民館 堀内館長
〃 南部公民館 山本館長
北 区 植木公民館 羽矢館長
〃 北部公民館 門田館長
〃 龍田公民館 本巢館長

以上20人

【次第】

- 1 開会
- 2 文化市民局市民生活部長挨拶
- 3 委員および職員紹介
- 4 議 事

【令和5年度 重点事業の実施状況について】

- ・『学習機会（公民館講座）の充実』
- ・『地域の教育力を高め合い、まちづくりにつながる事業の推進』
- ・『ライフステージに応じた学びと交流を促進する事業の充実』

- 5 報告
 - (1)生涯学習自主講座の運用開始について
 - (2)第2次熊本市生涯学習推進計画の策定について
- 6 閉 会

【議事要旨】

（事務局）

議事について説明

- ・『学習機会（公民館講座）の充実』
- ・『地域の教育力を高め合い、まちづくりにつながる事業の推進』
- ・『ライフステージに応じた学びと交流を促進する事業の充実』

（委員）

地域の中でも様々な分野について得意なことがある住民がたくさんいる。そういった人材を公民館で活用していただきたい。

説明にもあったように『広報活動』の実施については、地域の特性や自治会の温度差等でなかなか難しいところがあると思うが、公民館が地道に頑張っていくことが重要だと考える。

（委員）

『周知方法』が課題であると考えている。口コミや市政だよりから情報を得る方が自分の周りには多いように感じる。今も LINE 等で行っていると思うが SNS を更に活用してはどうか。また、SNS を利用するのが難しい高齢者等への配慮も必要だと感じる。

熊本市公式 LINE アカウントの登録者数を教えてほしい。

小学校との連携は多くあるが、保育や幼児教育にも力をいれていくと更に良いのではないかな。

(委員長代理)

公民館でスマホ講座等を開催したときに、熊本市公式 LINE アカウントについて紹介して登録を促してみてもどうか。

(委員)

これから更に公民館と企業との連携が広がってくれれば嬉しい。障がいのある方の公民館講座への参加状況や、実際に実施した講座の事例があれば教えてほしい。

(事務局)

熊本市公式 LINE アカウントの登録者数はすぐにお答えできないが（後に 18 万 5 千人程度と回答）、各講座の情報は LINE 登録者へ配信を行っている。公民館や各区の YouTube チャンネルも開設しているのでそれらを更に活用していきたい。また、各公民館で工夫して公民館だより等を地域に届けているが、もっと周知し、情報の広がりを拡大することが必要だと感じている。

(事務局)

企業との連携について、東部公民館では自動車ディーラーの社員と一緒にクルマについて学ぶ講座を実施したり、ライブハウスとコラボレーションしたり、小学校の「総合的な学習の時間」で様々な企業にご協力いただいて授業を行っている実績がある。

障がい者の参加については、すべての主催講座で障がいを理由に参加をお断りすることはしておらず、皆さんにご参加いただける体制を整えている。実際に子どもチャレンジ公民館に参加してくれた児童の中に難聴の児童がいたが、参加者みんなでサポートし合い、楽しく活動する様子が見られた。

(委員)

小学校で障がい疑似体験の授業があっていると思うが、児童もすごく意欲的・積極的に取り組んでいる様子があるので、そういった公民館講座もあると良いのでは。

(委員)

市内に 6 つある市立幼稚園にある保護者後援会が主体となって、学習会や研修会を実施しているので、そういった場に公民館が出向いて行き、公民館について周知してみてもどうか。

(事務局)

年度当初に開催される校長・園長会の場で「おでかけ公民館」等の利用をはじめ公民館をもっと使ってもらうことを周知してまいりたい。

(委員)

公民館のリピーターを増やすには、講座の中身も重要であるが、講座に参加している公民館職員がもっと楽しくしているとリピーターが増えると思う。もっと職員が積極的に自分を出していただけると講座受講者も楽しく参加できると考える。

(事務局)

報告について説明

(1)生涯学習自主講座の運用開始について

(2)第2次熊本市生涯学習推進計画の策定について

(委員長代理)

生涯学習自主講座を4月から開始する際の準備等について何かお聞かせいただきたい。

(事務局)

昨年の11月までに各講座生に移行についての説明を終えている。各館とも多くの団体があるが、ちょうど今講座生を募集している時期である。

(委員)

第2次熊本市生涯学習推進計画の中で、リカレント教育の実施とあるが、どういったことを扱われるのか。

(事務局)

昨年度から実施しているが、県内の大学にご協力いただいて、まず各大学が実施しているリカレント教育について情報を収集し、本市HP等を活用し周知・広報をさせていただいたところである。具体的な実施計画はこれからだが、定期的に大学関係者と情報を共有しながら、各大学と連携して公民館を利用したり、オンラインで公民館と大学を結んだりすること等を考えている。

(委員)

4か月前から予約が始まったが、今後予約開始時期を更に早めることは検討しているか。

(事務局)

4か月前からの予約が始まったばかりなので現在のところ検討はしていない。

閉会